

# いずみ通信

IZUMI NEWSLETTER

2023年度 第4号 N078



名古屋市児童養護施設等就労支援事業  
就労支援事業 サポートいずみ  
名古屋市昭和区福江3丁目5番10号  
自立援助ホーム慈泉寮内  
TEL (052) 881-7583  
FAX (052) 881-7746  
E-mail sp.izumi2012@gmail.com  
<https://syoutokukai.or.jp/izumi/>  
発行責任者 平井誠敏 編集者 羽根 祥充

## 不安もあるけど..新しい生活が楽しみです 高校卒業と就職・進学を祝う会



この春に高校を卒業する市内の児童養護施設に入所する高校3年生の「高校卒業と就職・進学を祝う会」が、2月24日に駒方寮で開催されました。

この会は、毎月実施しているステップアップセミナーの締めくくりとして行われます。今年度はセミナーに参加した児童も36名と例年より多かったのですが、その内29名が参加しました。

### 来賓の方からのお祝いの言葉

この会の開催にご支援をいただいているビジネス交流会「金シャチBN Iチャプター」から、来賓として4名の方が出席され、代表して後藤啓佑様からお祝いの言葉をいただきました。「社会人になることは楽しい」「自分が信じたものをあきらめずに追い求めて行けば楽しいことが待っている」「何かトラブルがあったらいつでも相談してほしい」など、これから新しい生活に踏み出すみんなに応援の言葉をいただきました。

会を彩る生花のご用意やケーキ・アイスクリームの差し入れ、一人一人にお祝いの品としてQUOカードをいただきました。



### 先輩からのお話

次に、施設を巣立ち、児童養護施設の職員として活躍している先輩二人が、これからの生活の参考にしてもらうために、自らの体験を踏まえて話してくれました。

一人目は、就職して2年目になる先輩からの話でした。

『自分の経験が生かせる仕事としてこの仕事を選びました。1年目は、卒業に必要な単位をとるために、大学に通いながらの生活で金銭的にもかなり苦労しました。今年からは正社員となりましたが、施設の職員は入れ代わり

が多いと思うので、できるだけ長く働き続け、巣立っていった子どもたちが、施設に帰ってきたときに、「お帰り」と言えるような職員になれたら、という気持ちで働いています。』

もう一人は、大学を卒業し、今年度から自分が巣立った児童養護施設で働いている先輩からの話でした。

『大学生活を振り返ると最初は不安なことしかなかったが、友達や施設の職員に協力を求めたり、自分でもネットなどで調べたりするなかでクリ



(裏面へ続く)

アしてきました。将来の職業につながるバイトは早くしておいた方がいいと思います。

どうして自分の出身施設での就職を選んだかという、施設出身の自分だから言える意見や見える視点があると思いました。また、今いる子たちや卒園生、職員の懸け橋になれると考えました。卒園した子が帰ってきやすいような環境を整えたりすることなどが自分の役割だと考えています。』

施設で育った経験で感じたことを生かし、子どもたちがより安心して過ごせる施設にしていこうという姿勢で働いている二人の話には、支援をする側の私たちも深く感銘を受けました。

### 卒業生の決意表明

その後高校3年生一人一人から、「進路について」「将来の夢について」決意表明をしてもらいました。

将来、教師や保育士、建築士になりたい、児童養護施設で働きたい、起業したいという希望を持って進学する子や、製造業や物流関係、工業系、福祉関係の会社などへの就職が内定している子がいました。また、大学生活や一人暮らしの中でこれから考えていきたいという子もいました。



一人一人が事前に準備して、自分の言葉で語ってくれました。



最後に一人一人にプレゼントが手渡されました。民間社会的養育施設長会からは、「印鑑のケース」、サポートいずみからは、「印鑑」が贈られました。高校3年生の最後の思い出になる行事で、有意義なひと時になったと思います。

## 2023年度の活動を振り返って



3年以上続いた新型コロナによる社会的制限がほぼなくなるなか、今年度は活発に事業を展開することができました。

- 1 名古屋市、民間社会的養育施設長会と協力して開催しているなごやかステップアップセミナーは、予定通り9回開催しました。全体を通して多くの中高生が参加しました。
- 2 年間を通じ、**職業体験事業**を活発に行いました。夏休み期間中には、中高生51名（延べ61名）が、18事業所で体験しました。また、その他の期間についても14名（延べ17名）が6事業所で体験しました。
- 3 毎年内容を改訂している**生活の知恵本**を使い、施設を巣立った後の新しい生活に役立てる勉強をしました。毎年秋に改訂後、施設の高校卒業児童等に配布し、出前勉強会などで学習に役立てています。その後、サポートいずみに相談に訪れた若者にも渡して、生活に役立ててもらっています。
- 4 食料品提供事業は、大学等へ進学後の2年間、夏・冬の年2回調理しやすい保存がきく食品を送っていますが、コロナ禍や物価高等で生活が苦しい退所者にも行ないました。
- 5 巣立ち後日本福祉大学に通う学生の交流会を2回実施しました。その他の大学等に通う学生については、個別に面会交流を始めました。
- 6 **ホームページ**にサポートいずみの活動を積極的に発信しました。

### 【新しく協力雇用主登録頂いた企業】

シッターミーア	名古屋市内	ベビーシッター	顧客訪問のベビーシッター
---------	-------	---------	--------------

寮完備の企業の方や、様々な職種において子ども達をご理解頂ける雇用主を募集しています。

